

平成 28 年度 経営発達支援計画

経済動向調査レポート

【概要版】

(平成 28 年 8 月～10 月)

I. 現在の景気動向についての傾向

<総括>

- ・全国的な小規模企業における景気動向は改善の傾向。
- ・新潟県内において、景気の改善傾向が見られるものの、一部業種においては依然として停滞傾向が継続。
- ・新発田市の人口は減少傾向にあり、紫雲寺地域においては世帯数の増加となっているものの、相対的な人口減少が継続。
- ・新発田市内の企業の景気動向（平成28年7～9月期）としては、小売業・サービス業で回復の兆しが見えず、見通しとしても厳しい状況が継続。

1. 全国的な経済動向について

■小規模企業の景気動向（平成28年9月、10月）

「9月、10月では景気動向に改善の兆し」

産業全体における平成28年度9～10月の景気動向としては、「売上高」「採算」について、「改善」と回答する企業が多く占めている。

業種別では、製造業の悪化が目立っており、その他の業種では全体的に改善傾向に向かっている。

<小規模企業における景気動向（全国） 単位：ポイント（DI値*）>

業種	産業全体			製造業			建設業		
	9月	10月	前月比	9月	10月	前月比	9月	10月	前月比
売上額	▲23.0	▲21.2	1.8	▲14.7	▲16.5	▲1.8	▲13.7	▲9.4	4.3
採算	▲23.3	▲22.1	1.2	▲18.6	▲19.2	▲0.6	▲21.1	▲18.3	2.8
資金繰り	▲18.6	▲17.4	1.2	▲15.8	▲16.6	▲0.8	▲14.8	▲15.0	▲0.2
業況	▲25.3	▲23.8	1.5	▲22.3	▲22.3	0.0	▲18.5	▲16.6	1.9

業種	小売業			サービス業		
	9月	10月	前月比	9月	10月	前月比
売上額	▲37.9	▲35.5	2.4	▲25.6	▲23.3	2.3
採算	▲33.1	▲33.0	0.1	▲20.3	▲18.0	2.3
資金繰り	▲27.3	▲24.8	2.5	▲16.6	▲13.3	3.3
業況	▲35.6	▲33.7	1.9	▲24.9	▲22.6	2.3

注) DI (景気動向指数) は各調査項目について、増加 (好転) 企業割合から減少 (悪化) 企業割合を差し引いた値を示す。

全国商工会連合会 企業環境情報課

(参照元：全国商工会連合会小規模企業景気動向調査)

*DI 値…Diffusion Index の略で、「増加」「好転」したとする企業割合から、「減少」「悪化」したとする企業割合を差し引いた値のこと。企業の景況感を示す業況判断指数として用いられ、プラスに転じるほど「景況感が良い」と捉えることができる。

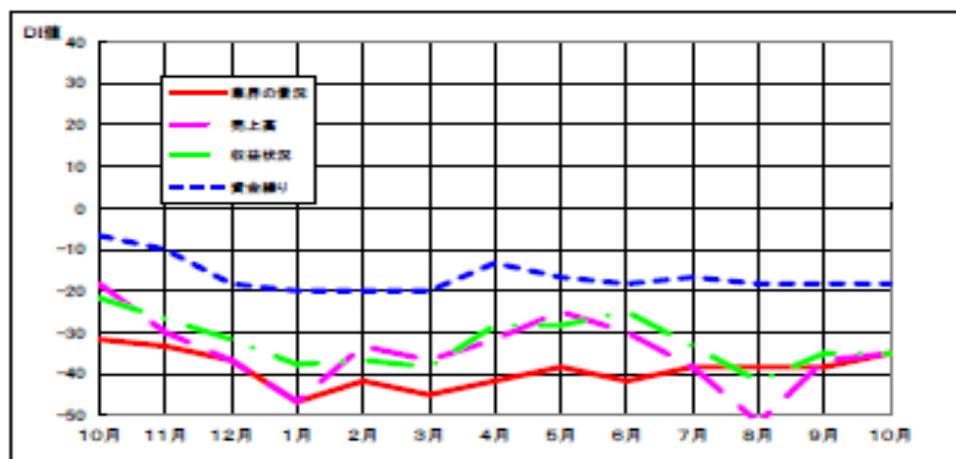
2. 新潟県内の経済動向について

■新潟県内企業における景況感（平成 27 年 7 月～平成 28 年 7 月）

「年初からは改善傾向であるものの、前月比較では減少傾向」

新潟県内企業における景況感として、平成 28 年 8～10 月期では「業界の景況」「売上高」「収益状況」「資金繰り」と、8 月以降において、すべての項目で改善の兆候が見られた。しかし、前年の平成 27 年 10 月期と比較した場合、全ての項目において、前年同時期と比べ DI 値は大幅に減少している。引き続き、今後の推移に留意する必要がある。

<新潟県内企業における景況動向（全国） 単位：ポイント（DI 値*）>



	H27			H28									
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
業界の景況	-31.7	-33.3	-36.7	-46.7	-41.7	-45.0	-41.7	-38.3	-41.7	-38.3	-38.3	-38.3	-35.0
売上高	-18.3	-30.0	-36.7	-46.7	-33.3	-36.7	-31.7	-25.0	-30.0	-38.3	-51.7	-36.7	-35.0
収益状況	-21.7	-26.7	-31.7	-37.7	-36.7	-38.3	-28.3	-28.3	-25.0	-33.3	-41.7	-35.0	-35.0
資金繰り	-6.7	-10.0	-18.3	-20.0	-20.0	-20.0	-13.3	-16.7	-18.3	-16.7	-18.3	-18.3	-18.3

（参照元：新潟県中小企業団体中央会）

3. 新発田市の経済環境について

＜新発田市人口推移（平成 28 年 1 月末、4 月末、7 月末、10 月末）＞

	世帯数	男	女	合計	増減数
平成 28 年 1 月末	35,812	48,426	51,767	100,193	－
平成 28 年 4 月末	35,978	48,359	51,524	99,883	▲310
平成 28 年 7 月末	35,991	48,311	51,450	99,761	▲122
平成 28 年 10 月末	36,087	48,314	51,443	99,757	▲4

(参照元：新発田市)

＜紫雲寺地区人口推移（平成 28 年 1 月末、4 月末、7 月末、10 月末）＞

紫雲寺地区合計			
世帯数	基準	数	増減
	平成 28 年 1 月末	2,202	－
	平成 28 年 4 月末	2,204	+2
	平成 28 年 7 月末	2,207	+5
	平成 28 年 10 月末	2,222	+15
人口合計	基準	数	増減
	平成 28 年 1 月末	7,338	－
	平成 28 年 4 月末	7,302	▲36
	平成 28 年 7 月末	7,280	▲22
	平成 28 年 10 月末	7,272	▲8

(参照元：新発田市)

新潟県の人口推移と同様に、新発田市においても人口減少が続いている。平成 28 年 10 月末現在の新発田市人口は、9 万 9,757 人であり、併せて平成 28 年 1 月末以降も人口減少が続く。平成 28 年 1 月からの累積として 436 人の減少となっている。

紫雲寺地区の人口推移としては、平成 28 年 1 月～10 月において、世帯数は継続して増加しているものの、人口としては減少が続く、累積で 66 人の減少となっている。

4. 新発田市における企業の景況感

<新発田市の企業における業種別景気動向 単位：ポイント（DI値*）>

景況調査

平成28年7月～9月期

新発田商工会議所

製造業	前年同期比(H27年7月～9月)					前期比(H28年4月～6月)					前年同期(H27年10月～12月)と比べ				
	増加	不変	減少	悪化	好転	増加	不変	減少	悪化	好転	増加	不変	減少	悪化	好転
売上額	25.00%	50.00%	25.00%	0.00%	0.00%	25.00%	62.5%	12.50%	0.00%	0.00%	50.00%	25.00%	25.00%	0.00%	0.00%
資金繰り	0.00%	87.50%	12.50%	0.00%	0.00%	0.00%	100.0%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%	0.00%	0.00%	0.00%
採算(経常利益)	37.50%	50.00%	12.50%	0.00%	0.00%	-	-	-	-	-	50.00%	37.50%	12.50%	0.00%	0.00%
従業員(指揮・パート)	0.00%	75.00%	25.00%	0.00%	0.00%	-	-	-	-	-	0.00%	75.00%	25.00%	0.00%	0.00%
業況(自社)	25.00%	75.00%	0.00%	0.00%	0.00%	25.00%	75.0%	0.00%	0.00%	0.00%	50.00%	50.00%	0.00%	0.00%	0.00%

※業況は前年同期比で売上額で増加、採算面でも好転企業が増えた。末期に向けても売上で増加と見る企業が増え、明るい兆しが見受けられる。

今期直面している経営上の課題→①製品(加工)単価の低下・上昇懸 ②生産設備の過剰、従業員の確保難

建設業	前年同期比(H27年7月～9月)					前期比(H28年4月～6月)					前年同期(H27年10月～12月)と比べ				
	増加	不変	減少	悪化	好転	増加	不変	減少	悪化	好転	増加	不変	減少	悪化	好転
完成工事高	28.57%	28.57%	42.86%	0.00%	0.00%	42.86%	14.3%	42.86%	0.00%	0.00%	42.86%	42.86%	14.29%	0.00%	0.00%
資金繰り	28.57%	57.14%	14.29%	0.00%	0.00%	28.57%	57.1%	14.29%	0.00%	0.00%	28.57%	57.14%	14.29%	0.00%	0.00%
採算(経常利益)	42.86%	42.86%	14.29%	0.00%	0.00%	-	-	-	-	-	28.57%	57.14%	14.29%	0.00%	0.00%
従業員(指揮・パート)	14.29%	85.71%	0.00%	0.00%	0.00%	-	-	-	-	-	14.29%	85.71%	0.00%	0.00%	0.00%
業況(自社)	28.57%	42.86%	28.57%	0.00%	0.00%	14.29%	57.1%	28.57%	0.00%	0.00%	28.57%	28.57%	42.86%	0.00%	0.00%

※売上・業況共に前年同期比で増加・好転企業が増え、採算面でも好転。末期に向けても半数以上の企業が売上増加と見ており、業界全体として明るい兆しが見える。

今期直面している経営上の課題→①民間需要の停滞 ②下請業者の確保難、新規参入業者の増加

卸売業	前年同期比(H27年7月～9月)					前期比(H28年4月～6月)					前年同期(H27年10月～12月)と比べ				
	増加	不変	減少	悪化	好転	増加	不変	減少	悪化	好転	増加	不変	減少	悪化	好転
売上額	25.00%	50.00%	25.00%	0.00%	0.00%	0.00%	50.0%	50.00%	0.00%	0.00%	25.00%	50.00%	25.00%	0.00%	0.00%
資金繰り	0.00%	100.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	100.0%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%	0.00%	0.00%	0.00%
採算(経常利益)	0.00%	100.00%	0.00%	0.00%	0.00%	-	-	-	-	-	25.00%	75.00%	0.00%	0.00%	0.00%
従業員(指揮・パート)	0.00%	100.00%	0.00%	0.00%	0.00%	-	-	-	-	-	0.00%	100.00%	0.00%	0.00%	0.00%
業況(自社)	0.00%	75.00%	25.00%	0.00%	0.00%	0.00%	75.0%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%	0.00%	0.00%	0.00%

※前年同期比で売上の増加した企業はあるものの、業況は悪化傾向は続いている。末期に向けては売上・業況ともに不変企業が多く、まだまだ厳しい状況は続くもよう。

今期直面している経営上の課題→①需要の停滞 ②メーカーの進出による競争の激化

小売業	前年同期比(H27年7月～9月)					前期比(H28年4月～6月)					前年同期(H27年10月～12月)と比べ				
	増加	不変	減少	悪化	好転	増加	不変	減少	悪化	好転	増加	不変	減少	悪化	好転
売上額	6.67%	60.00%	33.33%	0.00%	0.00%	6.67%	40.0%	53.33%	0.00%	0.00%	6.67%	66.67%	26.67%	0.00%	0.00%
資金繰り	0.00%	86.67%	13.33%	0.00%	0.00%	0.00%	86.7%	13.33%	0.00%	0.00%	0.00%	80.00%	20.00%	0.00%	0.00%
採算(経常利益)	6.67%	60.00%	33.33%	0.00%	0.00%	-	-	-	-	-	0.00%	73.33%	26.67%	0.00%	0.00%
従業員(指揮・パート)	0.00%	93.33%	6.67%	0.00%	0.00%	-	-	-	-	-	0.00%	93.33%	6.67%	0.00%	0.00%
業況(自社)	6.67%	60.00%	33.33%	0.00%	0.00%	6.67%	60.0%	33.33%	0.00%	0.00%	0.00%	73.33%	26.67%	0.00%	0.00%

※前年同期比で売上減少企業が減り、業況についても7割が不変と停滞傾向が続いている。末期に向けても業況は不変と見る企業が多く、全体として厳し傾向は続いている。

今期直面している経営上の課題→①購買力の他地域への流出 ②需要の停滞、大型店・中型店の進出による競争の激化、消費者ニーズの

サービス業	前年同期比(H27年7月～9月)					前期比(H28年4月～6月)					前年同期(H27年10月～12月)と比べ				
	増加	不変	減少	悪化	好転	増加	不変	減少	悪化	好転	増加	不変	減少	悪化	好転
売上額	13.33%	26.67%	60.00%	0.00%	0.00%	13.33%	33.3%	53.33%	0.00%	0.00%	0.00%	53.33%	46.67%	0.00%	0.00%
資金繰り	0.00%	73.33%	26.67%	0.00%	0.00%	0.00%	66.7%	33.33%	0.00%	0.00%	0.00%	80.00%	20.00%	0.00%	0.00%
採算(経常利益)	0.00%	66.67%	33.33%	0.00%	0.00%	-	-	-	-	-	0.00%	66.67%	33.33%	0.00%	0.00%
従業員(指揮・パート)	0.00%	80.00%	20.00%	0.00%	0.00%	-	-	-	-	-	6.67%	80.00%	13.33%	0.00%	0.00%
業況(自社)	0.00%	73.33%	26.67%	0.00%	0.00%	0.00%	60.0%	40.00%	0.00%	0.00%	0.00%	66.67%	33.33%	0.00%	0.00%

※売上・業況ともに前年同期比で減少とした企業が6割。業況についても不変との企業が多く厳しい傾向。末期に向けて業況は悪化と見る企業が9割ありまだまだ厳しい状態にある。

今期直面している経営上の課題→①需要の停滞 ②新規参入業者の増加

(参照元：新発田市商工会議所 中小企業景況調査)

新発田市商工会議所の中小企業景況調査によると、製造業、建設業においては前年同期比で売上が増加、採算性でも好転企業が増加している。

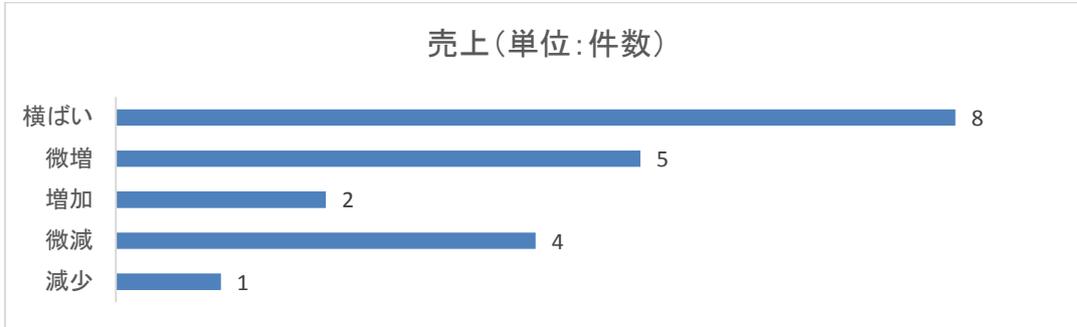
卸売業においては前年同期比で売上増加の企業はあるものの、業況悪化傾向は継続。小売業においては、前年同期比で売上減少が減り、業況についても7割が不変と停滞傾向が

継続。サービス業においては、売上、業況共に前年同期比で減少とした企業が6割。業況としても不変とした企業が多く横ばいの状況である。

来期への見通しについて、卸売業、小売業、サービス業において業況は悪化とみる企業が多く、厳しい状況は継続している。

Ⅱ. 紫雲寺地域の企業における景気動向について

■現在の景気・業況・売上の推移について

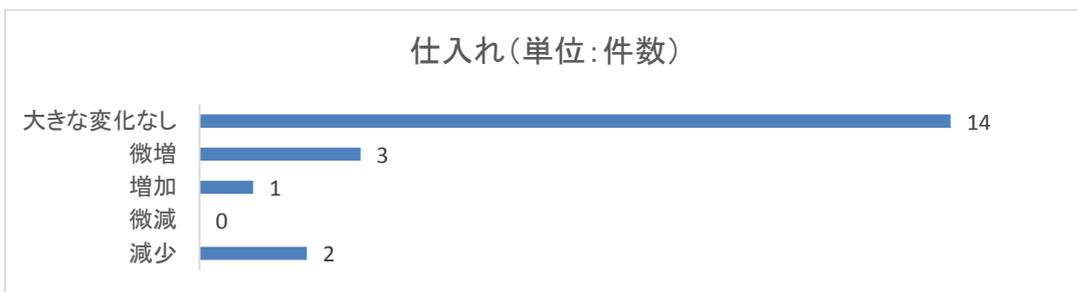


- ・昨年同時期と比べた売上の変化として「ほぼ横ばい」が全体の約 40%。
- ・「売上が増加している」「売上が微増している」と回答した事業者は全体の約 35%。
- ・「売上が増加している」と回答した事業者の共通点として『外部イベント等に積極的に参画し、新規顧客数を増加させている』ことが挙げられる。

現在の景気や業況、昨年同時期と比べた売上の状況について聞いたところ、「ほぼ横ばいで推移している」と全体の約 40%の事業者が回答した。

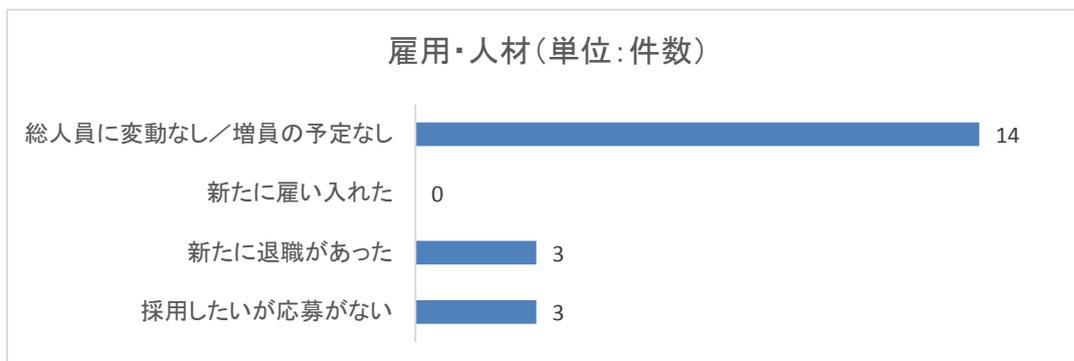
昨年同時期と比べて「売上が増加している」「わずかに売上が増加している」と回答した事業者は全体の約 35%。要因としては、「イベント等、外部への積極的な参画によって、新規顧客を増加させている」という共通点があり、これを継続している企業であった。

■仕入れ価格の状況について



仕入れ価格や費用の状況については総じて「大きな変化がない」という回答が集まったが、「増加」、「微増」と回答した企業は、飲食関連業が中心であり、『荒天による野菜・魚の不足による仕入れ増加』という回答が多く寄せられた。

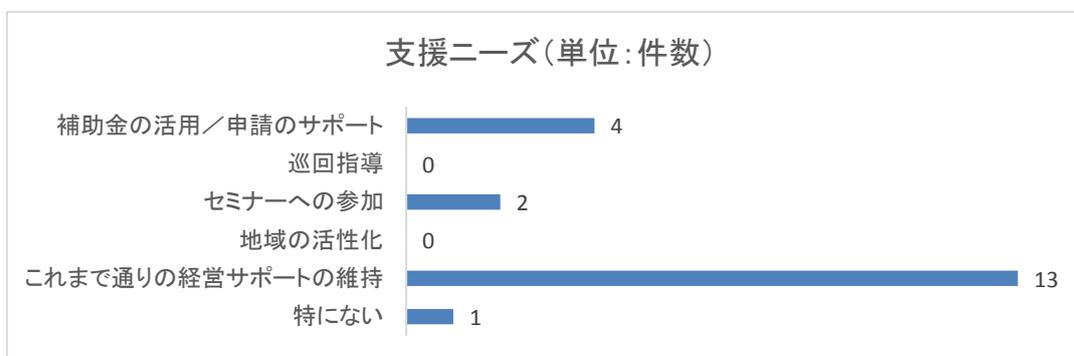
■雇用・人材の状況について



全体の70%の事業者で新たに人員を増加させる予定はなく、「新たに雇い入れた」という新規雇用を実施した企業はゼロとなっている。

また、「新たに退職があった」と回答した企業は全体の約15%を占め、退職に伴う新規募集を行ったとしても、「募集を出しても人材が集まらない」という事が継続している。

■支援ニーズ



商工会からの支援に関するニーズとしては、更なる補助金活用や申請時のサポートを引き続き要望するとして、現状のサポート体制を継続してほしい旨を有する事業者が多く、「今後も継続的に密なサポートをお願いしたい」という継続した要望が挙げられている。特に補助金活用だけではなく、「雇用を中心とした助成金の情報提供も積極的にお願いしたい」との要望も併せて挙げられた。

■現在の経営課題について（一部抜粋）



全体の約 40%において、販売経路拡大に向けた経営課題を抱えている。

また、全体の約 10%で新たな事業展開を進めている企業があり、これまでの事業分野の範囲（顧客への訴求力）を拡大させ、新規サービスを提供する計画を有している企業であった。

人材面においては、退職に伴う人員確保や、中～長期的な教育を施すことに課題を示している企業が全体の約 30%であった。

その他には、金融機関からの借入金返済をはじめ安定的な資金繰りを懸念している企業が前回調査より継続して見受けられた。

以上